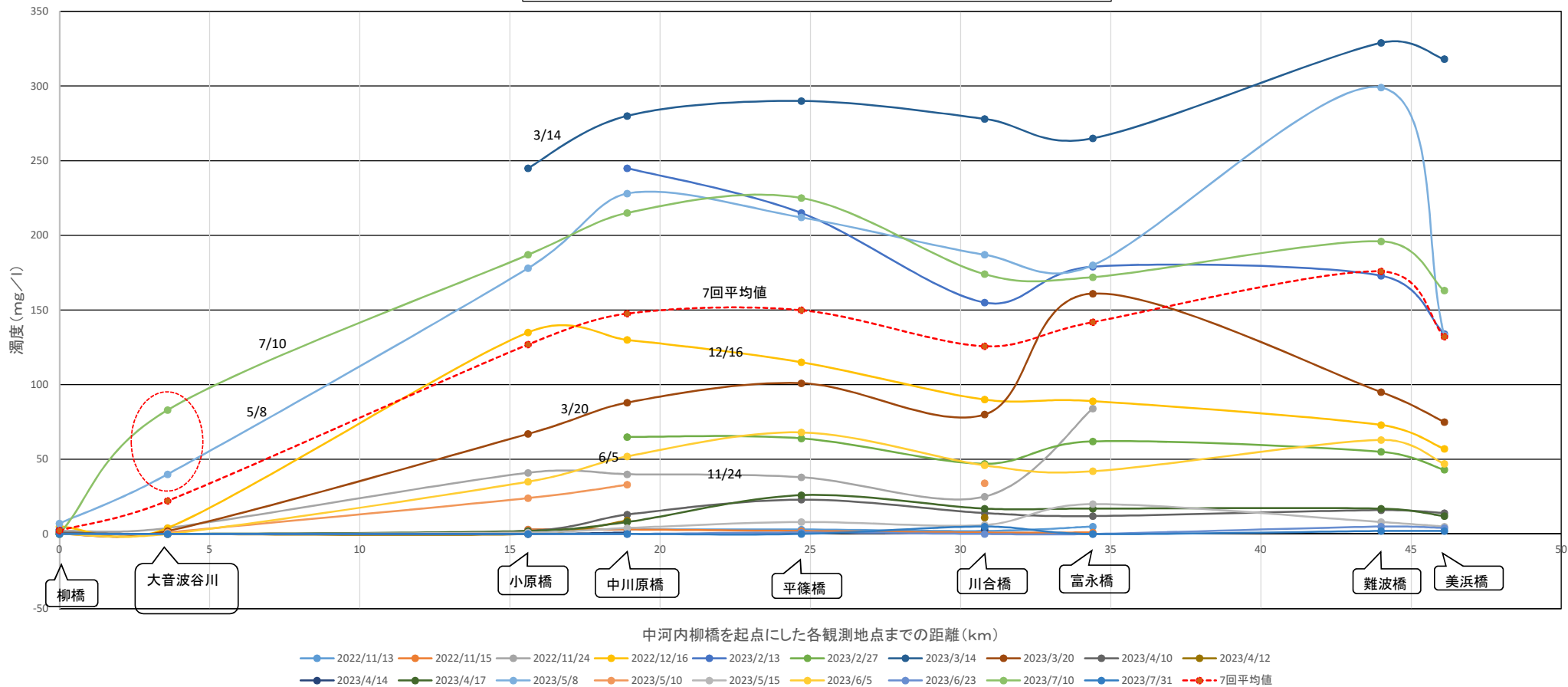


高時川における上流から下流への濁度の推移(9地点、19回調べ)  
2022.11.13~2023.7.31の滋賀県流域政策局濁水調査テーターを利用、分析



グラフの留意点

・滋賀県流域政策局の濁水調査のデータ(2022.11.13~2023.7.31までの19回の観測結果)を用いて、高時川の上流から下流に向かうにしたがって、濁度がどのように推移していくのかをグラフ化した。  
・おおまかな傾向を見るため、濁りがあって9地点においてデータ欠損が少ない7回分(日時が入っている回)を抽出して平均値を出した。(赤破線)

考察

- (1) 小原橋で濁りがないか、または薄い濁り(濁度約5mm以下)であると、下流まで濁りがないか薄い濁り(濁度約20mm前後以下)のままの状態で推移する。
- (2) 濁りが出るときは、大音波谷川合流から中川原橋あたりまで濁度が上昇し、その後は杉野川と合流(川合橋上流)するまでほぼ横ばい状態で推移する。
- (3) 本流上部の棚橋で濁りはほとんど観測されていないのに大音波谷川の合流地点で濁りが大きく出ている時(図中の赤囲み)は、支流の大音波谷川の濁りが大きく影響していると考えられる。また、大音波谷川での濁りが大きいと下流に向かって濃い濁りとなっていくことが分かる。
- (4) 中流域の川合橋で濁度が少し下がるのは、杉野川の合流により濁りが薄められる影響と思われる。杉野川は濁りなしが多い。
- (5) 富永橋での濁度の変化については、その上流に頭首工があり季節によって流量や流速等の変動が大きい(渇水時等は瀬切れが発生)こと等が影響していると思われる。また下流の難波橋での変化についても姉川の合流の影響が考えられる。

9観測地点	棚橋	大音波谷川合流	小原橋	中川原橋	平篠橋	川合橋	富永橋	難波橋	美浜橋
棚橋を起点にした川の距離(km)	0	3.6	15.6	18.9	24.7	30.8	34.4	44	46.1
一つ前の地点からの距離(km)	0	3.6	12	3.3	5.8	6.1	3.6	9.6	2.1

※川の距離は、国土地理院地図からフリーハンドで計測したものであり概数である。